

理事会便り

第14回常任理事会議事録

日 時 昭和36年4月15日(土) 11.00~14.30

場 所 神田学士会館

出席者 藤田, 今井, 正野, 吉武, 岸保, 松本, 畠山,
根本, 神山, 有住, 淵 各理事(順序不同)

決 議

1. 春季大会の座長を次のとおりお願いすることとなった。

| 5月29日, 30日, 31日 | 第1会場 | 第2会場 |
|-----------------|-------|-------|
| 第1日 午前 | 高橋浩一郎 | 伊藤 彊自 |
| 〃 午後(前半) | — | 武田 京一 |
| 〃 〃 (後半) | — | 小平 信彦 |
| 第2日 午前 | 安井 善一 | 高橋 喜彦 |
| 〃 午後 | 山岡 保 | 磯野 謙治 |
| 第3日 午前 | 斎藤 博英 | 今井 一郎 |
| 〃 午後(前半) | 木村 耕三 | — |
| 〃 〃 (後半) | 肥沼 寛一 | — |

2. 受賞記念講演は駒林誠氏にお願いし, 小林禎作氏に帰朝談をお願いすることとなった。

3. 総会における一般事業報告のほかには下記の報告をすることとなった。

(イ) 数値予報国際シンポジウムについて 正野理事長
(ロ) 日本学会会議について 畠山理事
(ハ) 国際学术交流について 神山理事

4. 総合議題として「日中学術交流の促進に関する件」を提出することとし, 提案理由は松本理事が作成することとなった。

5. 磯野理事の転出と竹内委員の渡米に伴い, 下記のとおり担当をお願いすることとなった。

外国関係担当 松本理事
学术交流関係担当 藤田敏夫理事
〃 委員 当舎万寿夫
ノート関係担当 神山理事
講演企画関係委員 清水逸郎

6. 日本天文学会から集誌と交換していた欧文研究報告を買ってもらいたい旨申出があったが, 当学会としては買わないが, こちらからは今迄どおり贈ることとなった。

気象界消息

1. 日本政府, 台風セミナーを正式招請

1962年1月18日から東京で開催予定の熱帯低気圧セミナーについて, 4月25日付で日本政府は WMO に正式招請状を出した。

2. 宗谷 帰る

南極観測船「宗谷」は5月4日朝10時40分ごろ東京港に帰着, 第5次観測隊の守田康太郎副隊長ら19人, 明田末一郎船長ら乗組員113人をむかえ, 同11時から日の出棧橋で帰港式が行なわれた。

3. 和達長官 WMO 執行委員会に出席

和達気象庁長官は, 5月11日~31日に WMO 事務局で開かれる第13回 WMO 執行委員会に出席するため, 5月9日空路ジュネーブに向かわれた。主要議題は, 1962年度予算, 人工衛星, 原子力, 技術観測専門委員会の勧告の審議などである。また長官は執行委員会の津浪分科会のレポーターになっており, 国際津浪警報組織の確立に関して報告を行なうことになっている。

4. 阿部氏スクリップスに出張

本学会会員気研海洋研究部第3研究室長の阿部友三郎

1961年5月

氏は「海水泡沫性の物理的性質に関する研究」のため, 合衆国カリフォルニア大学のスクリップス海洋研究所に6月4日から10月10日まで出張される。

5. 荒川氏合衆国に出張

本学会会員 気研予報研究部長の荒川秀俊博士は合衆国のケンブリッジ, ノオホーク, マイアミ, ホノルルなどで「台風の統計予報についての研究に関する意見交換および見学」のため, 6月10日から1月半出張される。

6. 地区間水文セミナー

WMO とエカフェの共催で, 地区間水文セミナー (Interregional Seminar on Field Method and Instruments used in Meteorology and Hydrometeorology) が本年11月27日~12月11日にバンコックで開かれる。気象庁からの代表は未定。